

# 恵みと真理のニュース



2012年7月の一次 恵みと真理教会

韓国 京畿道 安養市 萬安区 安養5洞 458-5 / ☎82-31-443-3731 / www.gntc.net



## 【証】 私の家族を救ってくださり豊かにしてくださって感謝します。

私はイエス様を信じない家庭で生まれ育ちました。しかし、偶然と私は中学校から大学までキリスト教学校を通いました。学校で信仰のある友達に会って教会に行きました。当時は友達が好きで、誘われたらそのまま付いて行きましたが、今思うと神様の特別な恵みだったと思います。

礼拝時間に牧師先生のメッセージを聞いていたら、気になるところがあり聖書についてもっと知りたいと思いましたが、周りには私の質問に答えてくれそうな人がいませんでした。神様は誰なのか、神様の恵みとは何なのか、人はなぜ神様に救われたいといけないのか、救い主イエス様についてよくわからないまま自分をキリスト人と思いついて教会へ行きました。

私はイエス様を信じない人に出会い結婚をしてある日から教会とは完全に離れた生活をしました。旦那は会社を経営していましたが、少しずつ危機におちていました。そして私はやっと学生時代、教会に行っていたときの思いが浮かんで神様に再び頼るべきだと思うようになりました。ある日、同じアパートに住んでいる女性が恵みと真理教会に行きましょと誘ってきました。私はその人の話を聞いてその次の週から

教会に行くことを約束しました。会社から帰って来た旦那には黙っていましたが、私の心はとても楽しみにしていました。その夜になって今まで忘れていた主の祈りも思い出しました。

1995年9月初めて恵みと真理教会で礼拝を捧げました。学生ごろ通っていた教会とは違う雰囲気だったため慣れていない環境の中で礼拝時間はすぐ過ぎていました。しかし当会長牧師先生が聖書のメッセージを語る時はとても感動的でした。その日礼拝を捧げて教会を後にしたとき、精霊様が私と共におられることを深く体験しました。その後、すべての礼拝に参加し、主の恵みの中で児童区域長、大人区域長と任命されました。区域のみんなと区域礼拝を捧げ、頑張る礼拝をしました。そして子どもたちを集めて児童区域礼拝を捧げる特権を味わうことができました。以前信仰無しで教会に通った時代、たくさんの質問がありましたが今は牧師先生のメッセージを通してすべての質問が解消されて礼拝のときは御言葉をとおして大きく恵まれることができました。

神様は私の家族に経済的に大変なすべてのことを解決してくださりました。そして豊かな物質の祝福も与えてくださって、旦那もイエス様を救い主と信じ救われました。ハレルヤ!!

また感謝することは、息子と娘が幼いころから教会学校で礼拝を捧げ聖歌台として神様に賛

美を捧げながら信仰の中できれいによく育ててくださいました。教会学校の役割の大事さを感じた私は教会学校の先生として奉仕をしました。

私が恵みと真理教会に行きイエスキリストを信じ信仰生活を始めた後、私の姿はたくさん変わっていました。前と違って大変なことがあっても諦めたり落ち込んだりすることなく主の中で希望をもつことができました。そして子どもたちにも神様の御言葉で勇気づけながら育ちました。また私だけではなく、家族みんなが神様の御言葉でお互いが勇気を与え愛で心一つにして暮らすことができました。嬉しいときも、大変なときも、神様はいつも私たちと共にしてくださり、ときによる助けの恵みで一番良いときに一番良い方法で一番良いことで満たしてくださって感謝します。子どもたちは神様の恵みの中で成長して娘は教会学校の児童部先生として奉仕をしながら青年部でも一生懸命に参加しています。

主の働きをすることは私がやりたいからでできることではなく、その時期があるということを知っています。そして主は私に奉仕をする、主に仕える機会と力を与えてくださるその日まで主のため頑張る働きたいと思います。ありがとうございました。



## 【信仰コラム】 神様が与えて下さった恵みの命令

“あなたがあなたの神、主の御声に聞き従うので、次のすべての祝福があなたに臨み、あなたは祝福される。(28:1~2)”

聖書には神様のたくさんの命令が書いてあります。その命令は神様の約束が追加されています。

その約束とは、人々が臨むこと、必要なことを満たすことなのです。従って、私たちは神様の命令について悟りそれを実践することを大きな喜びだと信じるべきです。そして私たちの心深く刻み、考えながら実践すべき神様の三つの命令について調べます。

第一、‘信じなさい。’

神様はある人に、またはある対象、約束対して信じる能力を与えて下さいました。

人々は昼と夜、季節の規則的な変化を信じています。また食べ物が血と肉、力になることを疑う人はいません。しかし、どんな対象を信じるか、信じないか、それを判断するとき疑いという過程を通る場合があります。信じてはいけないことを信じた場合、それに対する弊害を無視することはできません。もしそれが霊的なことである場合、致命的な結果を招きます。信じるべきことを信じる信仰をもつことはホットする、祝福のあることです。しかし、私たちが維持

的な決断をとおして信じるべきことがあるということをお忘れはいけません。神様は私たちの幸せのために私たちが信じるべき対象と約束を与えて下さったのです。そして、これを信じる者にはとても素晴らしい驚く結果を与えてくださいます。イエスキリストを信じる者に与えてくださる大きな祝福とは救われることです。神様の御言葉を信じることと神様を信じることは一つなのです。

第二、‘求めなさい。’

神様に何かを求められるということはとてもありがたいと、嬉しいことです。我々が神様になんでも求められるその理由は三つあります。まず、私たちは神様の子どもになったからです。次に、神様が約束してくださった御言葉があるからです。最後に、イエスキリストの御名によって求めることは与えてくださると書いてあるからです。我々が神様に求めることに限りはありません。ただ、悪い欲望で求めることについて神様が応じないのです。切なく求めることは聖徒の義務であり特権です。また、それに応じることは神様の義務なのです。なぜ、我々が求めることに限って応じてくださるのか、その答えは“神様が決めた法律だからです。”という言葉で返すことができます。慈しみの全能なる神様が私たちの遠い未来まで見ておられ、最善の答えを出してください。

第三、‘話しなさい。’

モーセの導きによりエジプトを去ったイスラエルの民たちが約束の地、カナンを目の前にしたとき、モーセは12名の斥候をカナンの地へ送って偵察するように指示しました。斥候たちは40日間その地を偵察して帰ってきて民たちに報告しました。その内の絶対多数の10名がとても否定的な報告をしました。すべての民たちが声を上げて叫びながら泣きました。そして、モーセとアロンさらに、神様まで憎みました。しかし、ヨシュアとカレブは違いました。“ただ主を拒まないように、その地の民たちを恐れるな。彼らは私たちの下にいる。主は私たちとともにおられる。”と言いました。神様は10名の斥候と民たち、ヨシュアとカレブが言った話を聞いて、神様はそのどおりに行いました。

みなさんは神様の人柄と約束に従って信仰をもつべきです。主はあなたの信仰どおりになると宣言します。神様の人柄とその約束の御言葉に従って求めなさい。そうすれば、与えてくださると約束してくださった御言葉どおりに応じてくださいます。神様の人柄とその約束に頼って話してください。神様が聞いてくださり、そのどおりに成らしてください。

「チョヨンモク牧師先生の信仰コラム『緑の牧場、清い川』本の語り中」

# 開かれた門、閉まった門



恵みと真理教会 チョヨンモク 牧師

聖書には多くの種類の門に関して記録しておきました。このような門はそれぞれ多様な内容と意味を持っています。聖書に記録された門は救援、福音の傳導、祈禱の応答、豊饒、迎接、天国と関係があります。この時間このような門に係わった 神霊なメッセージをよく捜して見ます。

## 第一、救援の門があります。

(ヨハネによる福音書10:9 私は門である誰でも私を通して入る者は救われまた出入りし牧草にありつくであろう) しました。

イエス様は唯一の救いの門です。門の前でぶらつくとか、あっちこっち覗くことでは救いを得ることができません。詳しく察してまた研究してその門に対してすごい論文を書いて言ってもそれでは救いを得ることができません。救いの門は狭き門です。イエス様がおっしゃるのは狭き門からはいれ滅びにいたる門は大きくてその道が広くてあそこに入って行く者が多くて生命に導く門は狭くて 捜す人が少ないだと(マタイ7:13-14) しました。

イエス様がおっしゃった 狭き門というのは競争がひどいことを意味するのではないです。救いの門は我執と貪心と驕慢が一杯な人には入って行くことができない 狭き門です。しかしイエスキリストの前に出て来て溫柔で謙遜な心で悔い改める者には 狭き門でも入って行くのがとても易しい門です。イエス様を信じて迎接すればできるのです。(私が救いの門だから誰でも私によって入って行けば救いを得るのである) と言いました。

## 第二、傳導の門があります。

コロサイ人への手紙4:3(私たちのために祈るで神様が傳導する門を私たちに開け下りイエス様の秘密を言わせるのを求めなさい) しました。福音を伝えようと思っても 傳導の門が閉まっているは 傳導ができません。傳導のドアがいて福音を自由に伝えるように私たちが祈らなければなりません。旧約聖書ダニエル書に見ればダニエルが ペルシアのコレス王の三年に異国の地チグリス江端で 21日間祈って応答を受けられた事実が記録されています。ダニエルが祈ってから 21日目になった時ダニエルに ガブリエルみ使が現われました。ガブリエルみ使はダニエルがお祈りを始めた初日から 神様が彼の祈りを聞いたが 21日後に 応答を持って来るようになった事情を言いました。ガブリエルの進行を防いで ペルシア軍はペルシア国を背後で支配するサタンの勢力を示す言葉です。ガブリエルはこれらの邪魔で任務の遂行に差し支えを受けていたが天使長のミゲルが来てガブリエルを助けてあげたから もう来たと言いました。私たちはこのように私たちが祈りの応答を邪魔する その背後の勢力があるというのが分らなければなりません。サタンは 傳導のドアがあくことができないように全力をつくしています。

だから私たちがダニエルのようにしつこくに祈らなければなりません。

## 第三、お祈りの応答の門があります。

求めよ そうすればあなたがたに与えられるであろう 捜しなさいそれでは見いだすであろう 門をたたきなさいそれではあなたがたに開かれるはずだから すべて求めるものを得ることで 捜す人が捜すことであり 門をたたき人に開かれるのである (マタイ 7:7-8) しました。門をたたきなさいとしたことは神様が知らせてくださった方法の通り求めなさいという意味があります。お祈りはイエス様の名前で神様のお父さんに求めなければなりません。イエス様がこんなにおっしゃいました。 <私が真実で真実でああなたがたにいう何でもお父さんに求めることを私の名前でくださる> (ヨハネ 16:23) <あなたがたが私の名前で何を求めても私が施行するのだ これはお父さんにとって息子をよって光栄を得るようにしようと思うのだ私の名前で何でも私に求めれば私が施行しよう> (ヨハネ 14:13-14) お祈りは聖書にある約束のみ言葉に根拠して求めなければなりません。神様は聖徒たちのために多くの約束をしました。そして私たちが神様の寶座の前にひいて胆大に祈ることができるようにしてくださいました。信仰と胆大さと忍耐しながら求めなければなりません。祈禱で門をたたくことは私たちがすべきことで、応答の門を開くことは神様のなさる仕事です。

## 第四、積む所がないようにあふれる恵みを注ぐための開かれる天の門があります。

<万軍のエホバが言われるあなたがたは完全な十分の一を倉庫に入れて私の家に糧食があるようにしてそれで私を試みよ 私が天の門を開いてあなたがたに福を積む所がないように福を注がないが見よ> (マラキ3:10) しました。聖書には神様を試みと言ったがただ 十分の一と係わって記録されたみ言葉だけです <私を試して私が天の門を開いてあなたがたに福を積む所がないように注がないが見よ> しました。財産は私たちにある信仰の状態を現わすものになりました。

イエス様がおっしゃるのを <あなたの宝物があるその所にあなたの心もあるのです> したし <あなたがたが神様と財物を兼ねて仕えることができない。> しました。積む所がないようにあふれに下さるのために開かれる天の門は神様に差し上げることを通じて開かれます。

## 第五、心の門があります。

ヨハネ黙示録3:20(見よ私が戸の外に立ってたたいているから誰でも私の音声を聞いて門を開けば私が彼に入行って彼と食をともにし彼もまた私と食をともにするであろう) しました。

心の門は外では開くことができず 中ばかりで開ける門です。イエス様も私たちが心の門を強制で開いて入って来ません。だから私たちが心の門を開かなければなりません。また頭官の門を通じて家に入れば多くの部屋たちがあって門があるように私たちの心も同じです。

心の門を開いてイエス様を迎接したら各各 部屋を開けられる鍵包みを神様に差し上げるようにしなければなりません。そうすればすべての事に神様と <共に> 暮す幸せを享受することができます。

<私が彼に入行っていっしょに食べて彼は私と共に食べよう> おっしゃったお話がこのような意味です。

## 第六、真珠の門があります。

ヨハネ黙示録21章に 記録されたのは<聖霊さまが私を連れて大きくて高い山に上がって神様の天から下る聖なるみやこエルサレムを見るとその光栄があってそのみやこの光りが極めて珍しい宝石みたいで碧玉と水晶のように清かった大きくて高い城郭があって12個の門があるのにその門に12天使があってその門の上に名前を書いているイスラエル子孫の12支派の名前である 東の方に三個の門、北の方に三個の門、南の方に三個の門、西側に三個の門だからその12門であらゆる真珠の門ごと一つ一つ真珠です城の道は清いガラスみたいな純金だった> しました。聖徒たちが永遠に住むようになる城 新しいエルサレムに入る門は真珠の門になっています。

真珠の門は黄金の門より 聖徒たちに適切です。貝の中に砂みたいな異物が入るようになれば貝は刺激を与えて苦痛を与えます。貝は白くて粘っこい物質を出してその異物を包み始めます。そんなにすればそれが真珠になります。聖徒たちは患難と逼迫と誘惑を信仰と所望と愛で乗り越えて患難が福になって苦難が光栄になるようにしながら住んで行って天国に入るようになります。

だから天国の門 12真珠になっているということが適切です。そしてなによりもイエス様が私たちが天国で導くために受けられた苦難は筆舌ですべて形容することができません。イエス様が受けられたその苦難によって私たちが天国に入ることができるようになったから天国の門が皆の真珠の門というのが非常に意味がある感動的です。

今日 私たちは <救いの門> から始めて <真珠の門> までその門の意味をよく捜して見ました。その門は閉まっていれば不幸と悲劇をもたらします。救いの門はいつまでも開かれていないです。門が開まる時が来ます。人類の歴史の終末が来ると救いの門が開まります。歴史の終末ではなくても不信の者には死の日が救援の門が開まるの日です。傳導の門が開まった所は開かれるのを私たちが祈らなければなりません。お祈りの回答の門は正しい方法でたたくと開かれます。積む所がないようにあふれる報いのために開かれる天の門は神様に差し上げることを通じて開かれます。

イエス様を救世主と神様で仕えるためには 心の門をぱっと開いて迎接しなければなりません。天国の真珠の門はこの世の中に住むうちに心の門を開いてイエス様を迎接した人のために開かれています。

ヨハネ黙示録 3章8節に <見よ 私があなたの前に開かれた門を置くのに だれでも閉める人がいなかろう 私があなたの行為を知っているから あなたがたが少ない能力を持って私を言葉を守りながら私の名前を裏切らなかつた> しました。

聖徒の皆さんは救いの門である イエス様を通じて救援を得て、積む所がないように恵みをあふれるために天のドアが開く恵みを享受しながら生きて行ってください。傳導の門、お祈り回答のドアがあくように切に求めてください。イエス様を向けて心の門をいつも開いておいてください。そして天国の真珠の門に入るようになることを思いながら 楽しく生きて行くのを祈ります。

恩恵と真理の消息の手紙を読む皆さんの家庭と凡事に神様の助けと常にともになさるのを祈ります。